

新・白銅通信

Shin Hakudo Tsushin vol.25 • 2023年2月

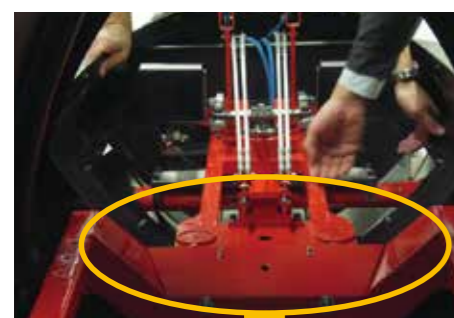


▲下町ボブスレーがワールドカップを滑走！(写真提供:国際ボブスレー連盟IBSF)

下町ボブスレーは東京都大田区で2012年にスタートし、日本やジャマイカの代表チームと五輪を目指してきました。現在は特定の国と組まず、純粋に速いその開発に集中して活動しており、それぞれの町工場が高精度な切削、熱による歪みを抑えた溶接、一体削り出しによる究極の軽量化など、最高の技術を投入しています。下町ボブスレーの材料は、白銅が無償提供しています。各種の鉄、アルミなど必要な材料を用意。また、前後のフレームをつなげる基幹部品の製作では、従来の板金加工から一体削り出しに変更して軽量化する計画の相談に乗り、S45Cの巨大な材料を用意しました。こうして改良を重ねた下町ボブスレーは、

下町ボブスレーが世界トップ20の決勝ラウンド進出！町工場のカチプロジエクトに白銅が材料を提供

白銅も協賛し、町工場が力を合わせて作ったそりで世界に挑戦する「下町ボブスレー」。その最新型機が初めて世界選手権に出場して決勝ラウンドまで進み、世界レベルの性能であることを示しました。



▲フレームをつなげる基幹部品/従来の板金加工から一体削り出しで高精度・軽量化に成功(材料S45Cを白銅が提供)

2022年1月には欧州カップで銅メダルを獲得。そして今シーズン、イタリア代表のバリオーラ・マッティア選手が下町ボブスレーで欧州カップとワールドカップを転戦しています。シーズンのメインイベントで短期決戦の世界選手権は1月末にアイスで開かれ、世界のトップ30が参加。まだ若いバリオーラ選手ですが20位以内しか残れない決勝ラウンドに滑り込み、19位の成績を収

めました。次の冬季五輪は2026年イタリア開催。まだまだ進化する下町ボブスレーとバリオーラ選手の応援をよろしくお願いいたします。



▲下町ボブスレーで世界を転戦するイタリア代表バリオーラ選手(右)

白銅が取り組むESG・SDGsの活動についてご紹介 第5回「コーポレートガバナンス(企業統治)分科会」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲今回の分科会が目標とするゴールは上の4つです。

今回は、「コーポレートガバナンス分科会」の活動内容についてご説明します。

サステナビリティ経営では、ガバナンスが環境や社会の諸課題に対処するうえで必須であり、E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)の3つの要素のうち最も重要であると考えられています。白銅においては、以下の4つを主要活動項目とし、それぞれ目標を設定して活動していく方針です。

- (1) コンプライアンス違反者ゼロ
- (2) 各ポリシー遵守または取組状況の確認
- (3) 事業リスクへの対応
- (4) 災害対策の強化

まず、(1)の「コンプライアンス違反者ゼロ」においては、ゼロ・トーランスを目指し、定期的な教育を実施することにより従業員の自覚を促すとともに、違反者を出さない仕組みを構築して社会の信頼に応えることを目指します。

(2)の「各ポリシー遵守または取組状況の確認」においては、弊社が策定した各種ポリシー(弊社HPにて公開)に基づいて業務が遂行されているかを定期的に確認することで、自律的に遵守していく組織を目指します。

(3)の「事業リスクへの対応」においては、事業リスクのポイント評価を実施し、リスク評価ポイントを低減するためのBCP体制を整備して、有事の時にも社会に貢献できる組織を目指します。

(4)の「災害対策の強化」においては、従業員の防災訓練の実施による個々の意識の向上や防災備蓄品の整備による一時的なライフラインの確保により、従業員の安全確保と円滑な業務再開を実現する仕組みの構築を目指します。

これらの目標を達成することで、企業の信頼度を高めていくことにつなげてまいります。

今後は、各々の活動項目について、定期的および随時、進捗状況を公表してまいります。

編集後記

いつも「新・白銅通信」をご愛読いただきましてありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年の冬は、珍しく最高気温10℃を超える暖かい日が発生している一方で、日本海側では豪雪により交通機関が停止してしまうなど、気候に大きく振り回されることが多かったように思います。皆様は無事お変わりなくお過ごしでしょうか?インフルエンザの感染も例年より多く見られているとのことですので、お身体には十分にお気を付けてお過ごしくださいませ。

今後とも変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

(井川杏彩)

◆白銅SNS公式アカウント
LINE・Facebook
book公式アカウントにて、白銅の商品・サービスや展示会開催情報などを配信しております。ぜひ、白銅SNS公式アカウントを友だち追加していただき、お客様のモノづくりにご活用ください。



QRコード読み取り後、「追加」ボタンから友だち追加が可能です。



「白銅株式会社」企業ページ遷移後、「フォロー」ボタンから友だち追加が可能です。

◆「Hakudo USA Inc.」設立のお知らせ
弊社は2022年12月14日付(現地日付)で、アメリカ合衆国における子会社「Hakudo USA Inc.」を設立いたしました。

◆白銅「ひまわり会」関連市町村へ寄附を実施
白銅ひまわり会は、弊社工場と深い関わりのある厚木市、鳥栖市、郡山市、日野町に寄附を実施しました。寄付金は、各市町村の市政各般にお役立ていただけます。



▲小林厚木市長(右)と弊社常務山田光重(左)

白銅からのお知らせ

アルミ製品の最新価格動向を アルミフォーミュラ情報をホームページで公開。

先の見えないロシアのウクライナ侵攻問題に加え、長引く円安基調による電気料金から食料品にいたるまでの諸物価の高騰など、日本を取り巻く経済は厳しいものがあります。素材メーカーや商社も例外ではありません。

昨年より各アルミメーカーが添加金属の価格高騰に伴い、添加金属価格を連動させる価格設定方法(フォーミュラ化)を導入しています。こうした状況を受けて、弊社においても2022年10月より、アルミ製品の適正な価格での安定供給という観点からフォーミュラ化を導入しております。

導入に伴い、弊社公式ホームページでは1カ月ごとの材質別アルミフォーミュラ変動予想をご案内しております。ぜひ、お客様の業務にお役立てください。

●アルミフォーミュラ変動予想 (2023年4月～2023年9月適用) 2023年2月1日時点

	Mg	Si	Mn	Cu	Zn	2022年10月～2023年3月適用額		2023年4月～2023年9月適用額		増減額 C (B-A)
						A	B	B	C	
K521	-	-	-	5.5%	-	25	25	25	0	
C8156	-	-	-	5.3%	-	25	20	20	-5	
G21	-	-	-	5.5%	-	25	25	25	0	
G23	-	-	-	5.4%	-	25	25	25	0	
A2017	0.6%	0.3%	0.7%	4.0%	-	25	20	20	-5	
A2024	1.5%	0.3%	0.6%	4.4%	-	25	25	25	0	
A5052	2.5%	-	-	-	-	10	5	5	-5	
KNS20	2.5%	-	-	-	-	10	5	5	-5	
A5056	5.1%	-	0.1%	-	-	20	10	10	-10	
A5083	4.5%	-	0.7%	-	-	20	10	10	-10	
KN300	4.5%	-	0.7%	-	-	20	10	10	-10	
A6061	1.0%	0.6%	-	0.3%	-	5	5	5	0	
A6063	0.7%	0.4%	-	-	-	5	5	5	0	
A7204	1.5%	-	0.5%	-	4.5%	15	10	10	-5	
A7075	2.5%	-	-	1.6%	5.6%	30	20	20	-10	
KN700	0.8%	-	-	-	5.8%	15	10	10	-5	

2023年4月からの増減予定額はこちら

▲白銅ホームページ掲載の「アルミフォーミュラ」から一部抜粋

計算の根拠となるデータ、ルールも確認できます。

BM (ベンチマーク) 価格
各添加金属価格変動前過去3年間 (2019年8月～2021年7月) の平均価格

Mg*	Si*	Mn*	Cu	Zn
261	208	218	768	325

値決め期間と適用期間

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
値決め期間										適用期間								

2022年9月～2023年2月の添加金属平均価格 (2023年2月1日時点)

Mg*	Si*	Mn*	Cu	Zn
489	440	321	1,191	484

* 当社がアルミメーカーと合意した第三者が提示した価格

▲白銅ホームページ掲載の「アルミフォーミュラ」から一部抜粋

●白銅ホームページ「アルミフォーミュラ」
<https://www.hakudo.co.jp/product/formula/index.html>
スマホをご利用の場合は、こちらのQRコードからアクセスしてください。→



白銅はJIS Q 27001を取得し、 情報セキュリティにも真摯に取り組んでいます！

JIS Q 27001は、ISO/IEC 27001をベースに情報資産をさまざまな脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な枠組みについて、日本で制定された世界標準の情報セキュリティマネジメントシステムの規格です。

JIS Q 27001の認証を取得したことにより、リスク管理委員会および経営企画本部経営企画部システム課の業務、該当部署にお客様が預託した情報資産や個人情報においても、情報セキュリティを確保する仕組みを構築することができました。また、その仕組みを維持し継続的に改善していることが客観的に確認されたこととなります。

今後も情報セキュリティ基本方針に基づき、情報の機密性、完全性、可用性を維持し、より安心してサービスをご利用いただける体制の維持に努めてまいります。



- 認証範囲：
 - リスク管理委員会および経営企画本部経営企画部システム課
- 適用範囲：
 - 顧客用のweb EDIシステムの提供・運用
 - 社内営業部門用の見積・注文システムの提供・運用
 - 社内製造部門用の伝票発行システムの提供・運用
 - 社内管理部門用の会計システムの提供・運用
 - 上記業務に関わる情報セキュリティマネジメント

情報セキュリティ基本方針

白銅株式会社(以下、当社)は、経営理念において、「私たちは、関係する全ての人に信頼されるとともに、モノづくりに関わる人々へ商品・便利・安心の提供を通じて、社会に貢献します」を掲げており、お客様からお預かりした情報はじめ、取り扱う各種情報資産を保護し、適切な安全管理を実現することは重要な責務と考え、以下のとおり、情報セキュリティ基本方針を策定し、実行いたします。

1. 当社は、関連法規を遵守し、また、法令規制要求事項、顧客の要求事項並びに契約に基づくセキュリティ義務を果します。
2. 当社は、従業員に対して、その職務や権限に応じた情報セキュリティのための教育訓練を行い、情報セキュリティ意識の向上を図ります。
3. 当社は、重大な障害または災害等から重要な情報を保護するため、事業継続の手順を定め、不測の事態に備えます。
4. 当社は、従業員が情報セキュリティの違反や脅威、脆弱性を報告できる仕組みを維持し、情報セキュリティの改善を図ります。
5. 当社は、適切なセキュリティ対策を実施するため、リスク評価のための基準を設定し、リスクアセスメントの体系的な取り組みを実施します。
6. 当社は、情報セキュリティマネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

2022年11月10日
トップマネジメント
白銅株式会社
代表取締役社長 角田 浩司

